

# コンボ ボックスの LD サービスを經營する Progger および CUIC の UCCE 11.5(1) LD 配備

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[説明](#)

[導入タイプ](#)

[AW サーバへの接続応答 LD サーバ](#)

[マシン人事記録への接続応答 LD サーバ](#)

[データ ソースを流すアクティブ化](#)

## 概要

この資料はコンボ サーバで Progger ( ルータ + ロガー + Peripheral Gateway ) および動作する CUIC \ LD でライブ データ ( LD ) 機能を設定するのに必要とされるステップを記述したものです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Unified Contact Center Enterprise ( UCCE ) ソリューション
- Cisco Live データの機能

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は UCCE バージョン 11.5(1)に基づいています。

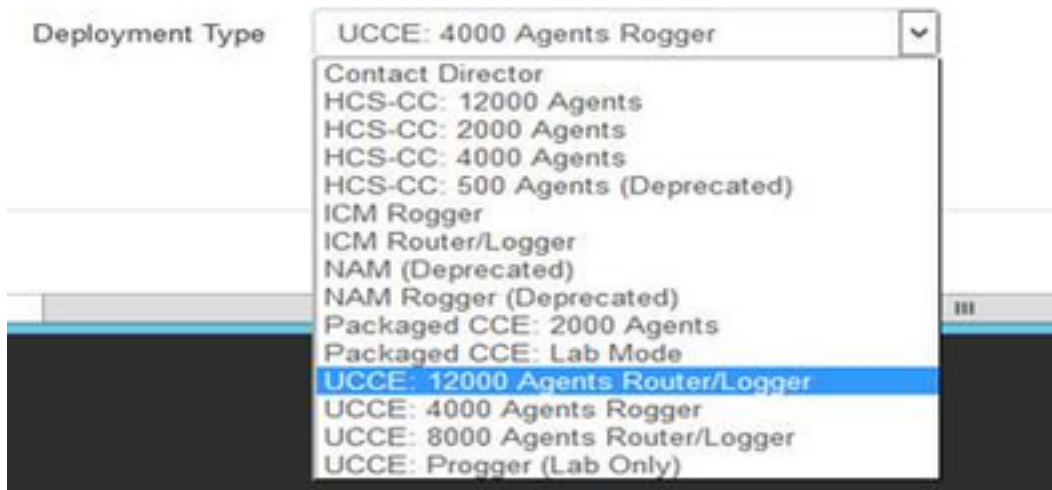
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 説明

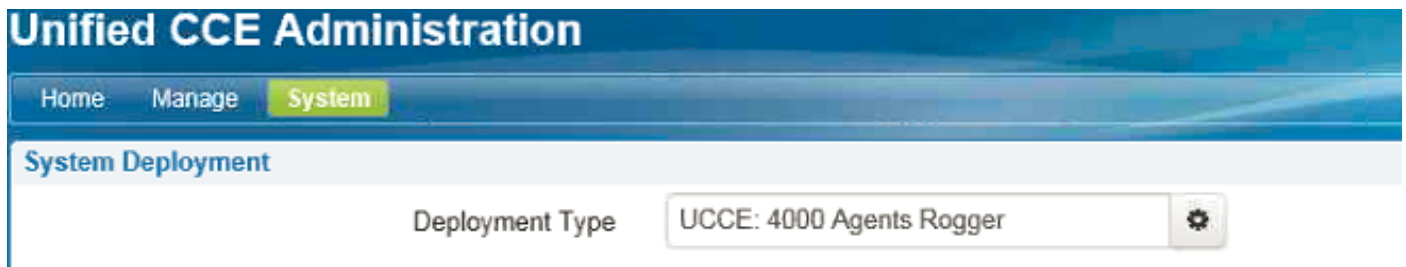
バージョン 11.5(1)の Progger および CUIC \ LD \ 識別 サービス ( IDS ) コンボ ボックスによって動作する LD 機能を持つために次の手順に従って下さい。

## 導入タイプ

UCCE 11.5(1) バージョンは 2000 年のエージェント ソリューションが同じサーバの CUIC \ LD および IDS サービスを運営するようにします。ただし、アドミニストレーションサーバ (AW) 配置タイプ セクションでイメージに示すように Rogger 2000 の型を、選択するオプションがありません:



この種類の配備を実現させる回避策は 2000 のエージェントのためのおよび AW 選定された UCCE の Ovum テンプレートとの progger サーバ インストールを持つことです: イメージに示すように 4000 のエージェント Roggers 配置タイプ、:



## AW サーバへの接続応答 LD サーバ

一定ライブ データ AW アクセス プライマリ <fqdn> <port> <dbinstance> <dbuser> <dbpwd> を通してコマンドはプライマリおよびセカンダリ AW サーバにアクセスを設定しました。

注: ライブ データ SQL ユーザが AW で作成され、ずっと提供された適切な権限であることが仮定されます。

## マシン人事記録への接続応答 LD サーバ

一般にライブ データ サーバをマシン人事記録に接続するために、コマンドによってライブ データ マシン サービス <user@domain> 設定される <pwd> は使用されます。LD サービスが同じ CUIC サーバで実行されていると同時にただしこの場合コマンドはこのメッセージと動作しません

```
set live-data machine-services user@domain XXXXXX
```

Error: command not valid for co-resident deployment. Use System Inventory in Unified CCE Administration tool.

LD 一覧を AW 配置セットアップページの下でコンポーネントに CUIC \ LD コンボ サーバを追加してマシン人事記録でもらうため。

System Deployment

Deployment Type

System Inventory

New Delete Search

<input type="checkbox"/>	Host Name	Address	Type	Alerts	Version
<input type="checkbox"/>	[redacted]	[redacted]	Unified CCE AW (Principal AW)	0 Alerts	11.5(1)
<input type="checkbox"/>	[redacted]	[redacted]	CUIC-LD-IdS Publisher	0 Alerts	11.5(1)
<input type="checkbox"/>	[redacted]	PROGGER-A	Unified CCE Router	0 Alerts	11.5(1)

## CUIC の設定 LD データ ソース

一定ライブ データ cuic データ ソース cuic アドレス cuic ポート CUIC \ cuic ユーザ cuic pwd によって CUIC サーバへのデータ ソース接続を流すことを設定して下さい。 流出出典は作成されますが、この段階ではありません。

<input type="radio"/> Live Data			Streaming	livea.ora.com:12008 liveb.ora.com:12008
<input type="radio"/> Streaming Data Source				

## データ ソースを流すアクティブ化

流出出典をアクティブにするため:

- progger の再度ブートするに先行している CUIC \ LD サーバを再起動して下さい。
- 配備がブラウザのルート コンテナに自己署名証明書インポート CUIC \ LD 認証をに取り組み。

<input type="radio"/> Live Data			Streaming	livea.ora.com:12008 liveb.ora.com:12008
<input type="radio"/> Streaming Data Source				

**注意:** ラボ 環境で一般に使用される極めて特殊な配備のこの技術情報フォーカス。 詳細 LD に関してはコンフィギュレーションのステップおよび前提条件は UCCE 設計の指針に続きます